

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：12601

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2020～2023

課題番号：20K23127

研究課題名（和文）COVID-19 in long-term care facilities: An international survey of the predictors, response, and outcomes

研究課題名（英文）COVID-19 in long-term care facilities: An international survey of the predictors, response, and outcomes

研究代表者

Eltaybani Sameh (ELTAYBANI, Sameh)

東京大学・大学院医学系研究科（医学部）・特任講師

研究者番号：90885097

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、COVID-19パンデミックに対する介護施設の対応についての国際的な調査である。223ヶ所の介護施設で勤務する、212名の管理者と2143名のスタッフからデータを収集した。主な結果は下記の通りである。(1) パンデミック前の備え（感染対策に関する教育など）が、パンデミックに対する介護施設の対応に影響していた。(2) 介護施設の入居者やスタッフに対する十分な精神的サポートが、感染症アウトブレイクの悪影響を軽減させるのに役立つ可能性がある。(3) COVID-19パンデミックは、スタッフの10名中、4名程度が社会的差別に遭遇した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の結果は、国、LTC施設、関係する専門家が感染症の流行に対する対応を改善するのに役立つと考えられる。本研究結果は、政策立案者や国際機関が、専門家、患者、家族の最善の利益を考慮して治療水準の向上を促進するのに役立つと考えられる。

研究成果の概要（英文）：This was an international survey exploring the response of long-term care facilities to the COVID-19 pandemic. The study collected data from 212 managers and 2143 staff working at 223 long-term care facilities in 13 countries/regions (Brazil, Egypt, England, Hong Kong, Indonesia, Japan, Norway, Portugal, Saudi Arabia, South Korea, Spain, Thailand, and Turkey). The results showed that (i) pre-pandemic preparedness (such as education on infection control, etc.) significantly shaped long-term care facilities' response to the pandemic; (ii) adequate psychological support to long-term care residents and staff might help mitigate the negative impacts of infection outbreaks; and (iii) about 4 out of every 10 staff encountered instances of social discrimination during the COVID-19 pandemic.

研究分野：Health Science and Nursing

キーワード：Long-term care Nursing homes Older people COVID-19 International survey Collaborative research

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) によって引き起こされたパンデミックは、長期ケア (LTC) 施設に住む人々に重大なリスクをもたらす。本研究開始時点の統計によると、全世界の COVID-19 関連の死亡の 25%以上が高齢者である。世界中の複数の LTC 施設において、COVID-19 の発生が職員、患者、その家族に影響を与えていると報告されている。しかし、世界的には COVID-19 の流行下の LTC 施設の対応に関するデータはなかった。加えて、この対応の前例と結果に関するデータも存在していなかった。したがって、本研究では、全世界の LTC 施設における、COVID-19 パンデミックへの対応を国際比較調査した。

2. 研究の目的

本研究の目的は下記の 2 点である。

- 1) COVID-19 のパンデミックに対する LTC 施設の対応の強みと弱点の領域を特定する。
- 2) COVID-19 のパンデミックに対する LTC 施設の対応のマイクロ・マクロレベルの予測因子を特定する。

3. 研究の方法

本研究では国際共同研究を実施した。223 ヶ所の LTC 施設で勤務する、212 名の管理者と 2143 名の職員から匿名化アンケートでデータを収集した。アンケートのほかに、人口統計データ (国内の高齢者の割合など)、経済状態 (国民総所得など)、健康状態 (医療支出など)、COVID-19 パンデミックへの対応など、参加国に関するデータも収集した。データ収集期間は 2021 年 4 月から 2021 年 10 月までの 6 ヶ月間であった。

4. 研究成果

主な結果は下記の通りである。

- (1) パンデミック前の準備 (感染対策に関する教育など) が、パンデミックに対する LTC 施設の対応に影響していた。将来発生しうるパンデミックの影響を最小限に抑えるために、LTC 施設は、ア) 感染予防と管理について職員を教育する、イ) 感染の予防と管理に関する情報へのアクセスを容易にする、ウ) 感染症の罹患歴・接触歴を定期的にモニタリングする、エ) 空気感染への対処方針を定め、実施する必要がある。
- (2) COVID-19 パンデミックは、LTC 施設職員の 10 名中、4 名程度が社会的差別に遭遇した。社会的差別を経験した LTC 施設職員は、現在の職場での雇用継続意志が低かった。したがって、LTC 施設職員を社会的差別から守る方法を特定することは、LTC 施設職員の離職防止に役立つ可能性がある。
- (3) LTC 施設の入居者や LTC 施設職員に対する十分な心理的支援が、COVID-19 パンデミックの悪影響を軽減させるのに役立つ可能性がある。施設側から適切な心理的支援を受けていると答えた LTC 施設職員は、その職場で働き続ける意志が高いことがわかった。

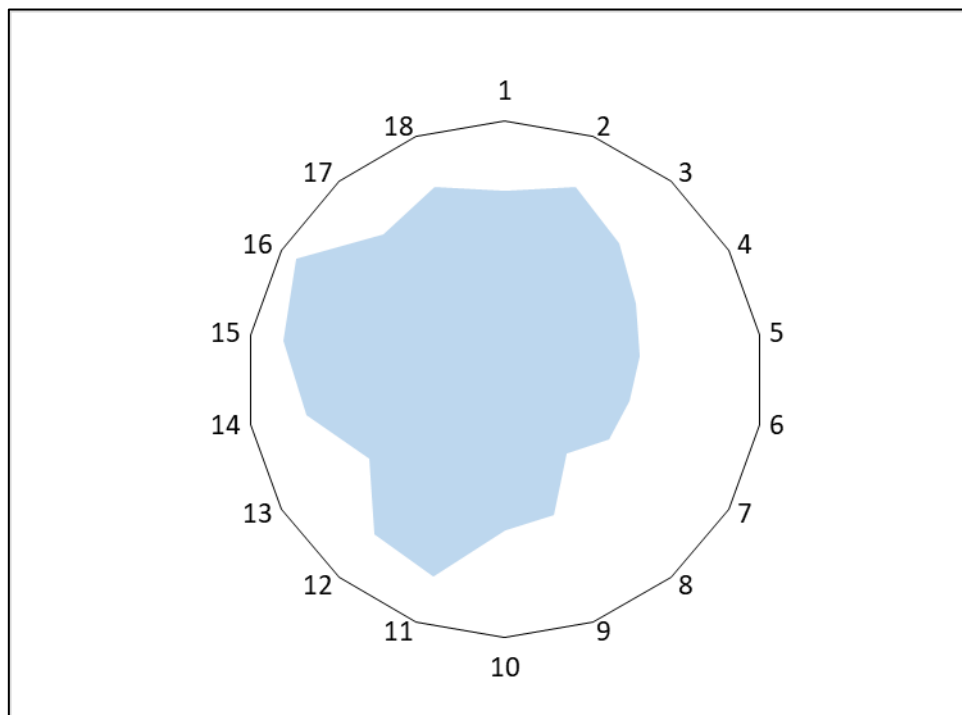


図 1：新型コロナウイルス感染症流行への日本の長期ケア施設の対応

LTC 施設が COVID-19 にどのように対応したかを評価するために、以下の 18 項目を評価した。

- 1 = 入居者に対する積極的な感染症スクリーニング
- 2 = LTC 施設職員に対する積極的な感染症スクリーニング
- 3 = 感染症の検査を行う基準がある
- 4 = 個人用保護具 (マスクや手袋など) の充足
- 5 = 施設職員不足を緩和するためのポリシー
- 6 = LTC 施設職員に対する COVID-19 関連の教育の提供
- 7 = 入居者に対する COVID-19 関連の教育の提供
- 8 = 入居者の家族に対する COVID-19 関連の教育の提供
- 9 = LTC 施設職員への心理的支援の提供
- 10 = 入居者への心理的支援の提供
- 11 = 入居者と家族との繋がりを維持すること
- 12 = 施設への訪問の制限
- 13 = ソーシャルディスタンスの適用
- 14 = 個人で利用できる隔離室の利用可能性
- 15 = 必要に応じて施設職員が病気休暇を利用できる方針があること
- 16 = 施設における娯楽活動の制限
- 17 = 新たに施設に入所した高齢者に関連する指針を持っていること
- 18 = 感染対策の迅速さ

日本からは 17 箇所の LTC 施設が参加した。図 1 は、項目 16「施設における娯楽活動の制限」では最も数値が高く、項目 8「入居者の家族に対する COVID-19 関連の教育の提供」では最も数値が低いことを示している。本研究の結果は、国、LTC 施設、関係する専門家が感染症の流行に対する対応を改善するのに役立つと考えられる。本研究結果は、政策立案者や国際機関が、専門家、患者、家族の最善の利益を考慮して治療水準の向上を促進するのにも役立つと考えられる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Sameh Eltaybani, Haruno Suzuki, Ayumi Igarashi, Mariko Sakka, Yuko Amamiya, Noriko Yamamoto-Mitani	4. 巻 9
2. 論文標題 Long-term care facilities' response to the COVID-19 pandemic: A protocol of a cross-sectional, multi-site, international survey	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nursing Open	6. 最初と最後の頁 2506 - 2517
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/nop2.1264	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Eltaybani, S., Igarashi, A., Cal, A., Lai, C. K. Y., Carrasco, C., Sari, D. W., ... Yamamoto-Mitani, N.	4. 巻 80
2. 論文標題 Long-term care facilities' response to the COVID-19 pandemic: An international, cross-sectional survey	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of Advanced Nursing	6. 最初と最後の頁 350 - 365
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/jan.15785	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
日本	The University of Tokyo			
ブラジル	Universidade Estadual Paulista	Federal University of Paraiba	University of Campinas	
韓国	Yonsei University			
トルコ	Ankara Medipol University	Ondokuz Mayis University		

共同研究相手国	相手方研究機関			
サウジアラビア	Prince Sattam Bin Abdulaziz University	Noura Bint Abdulrahman University		
英国	The Open University	University of Bedfordshire		
エジプト	University of Alexandria			
その他の国・地域	The University of Hong Kong	The Chinese University of Hong Kong	The Hong Kong Polytechnic University	
ポルトガル	Universidade de Evora			
スペイン	University of Extremadura			
タイ	Prince of Songkla University	Prapokklao Nursing College		
インドネシア	Universitas Airlangga	Binawan University	An Nasher Institute of Health Sciences	他2機関
ノルウェー	Nord University	NTNU		
オーストラリア	University of the Sunshine Coast			
米国	University of California, Los Angeles			